

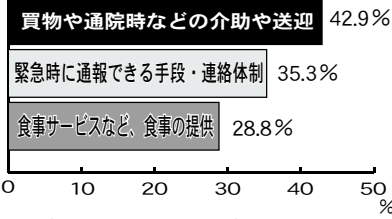
今年2月に共産党議員団が実施した
町民アンケートにいただいた声

「買い物に困っています。日々の食事、日用品等、歩いて20分以上ばかりです。帰りは荷物があり、夏なら炎天下を歩かなければならない。車で来る販売は、値段が高い。体調が悪い時、簡単に食事をする食堂もない。またほとんどの専門病院も他の町に行くことになる。年寄りの生活にも目を向けてほしい。いずれ皆、年寄りになるのです。田尻町は老人の弱者に冷たい。町営のスーパーをつくるか、町営のバスを病院やスーパー等に通してほしい。」

田尻町が実施したアンケート

どのような支援があれば、
自宅での生活を続けていけるか？

町内在住の65歳以上の高齢者1704名に
昨年6月に実施したアンケート内容の一部



※4年前の調査で一番多かった「緊急時に通報できる手段・連絡体制」よりも、「買物や通院時などの介助や送迎」が上回り、一番多くなりました。



「小川ゆうじの読者の声」

小川議員が、6日に行った一般質問2項目目の質疑応答

買物や通院時などの介助や送迎の実施を求める

今年2月に共産党議員団が実施した町民アンケートには左上に記載した声がありました。第5期高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定のアンケート結果においても、送迎サービスの実施は要望が強い施策であったと認識しています。(右上)国が、介護崩壊を加速させようとしているなかで、田尻町でどうやって社会全体で高齢者をささえ、利用しやすい介護サービスを提供し高齢者の生活と健康を守るかは、国や府の法令にしたがつつも、田尻町が独自の判断で施策を展開していくことが求められていると考えます。以前、田尻町でも実施していた高齢者の方に対するの病院などへの送迎を復活できないか、原町長の所見をうかがいます。

町当局及び町長の答弁

平成20年度まで社会福祉協議会に委託して、外出支援サービスを実施していたが、法律改正でできなくなり、社協に実施するよう協議したが、受け皿にならなかった。いまも状況は変わっていないので、復活は困難です。

「原町長は、子育てや教育に力を入れようとしているが、年寄りのことにも力をいれてほしい」との声があるが、どう思うか？

原町長の答弁

非常に残念。同じように考えて実施しているつもりです。ほかとくらべてひげをとらないと思うが、社協とも連携してなができるのか、考えていきたい。

小川吉開 検索

田尻町支部党活動募金
1口200円のお願ひ

なんでも相談は
月・水・金の
午前10時〜正午
465-9939

10月の弁護士相談は、
12日(金)
夕方6時〜8時
事前予約が必要ですよ

インターネット上の
「ニコニコ動画」で
※日本共産党のHPからも
いけます



20日午後5時〜10時まで生放送した録画が見られます

○「しんぶん赤旗」の編集部内の仕事風景
○共産党東京都議団訪問
「意外と身近、若い世代と地方議会の活動」
○「総選挙にどうのぞむか」
総選挙の意義・争点・躍進の展望と課題を語る
○日本共産党衆議院議員団終結
「解散含みの秋の国会にどう臨むか」
○「まったなし雇用、社会保障、経済再生の道」
ユーザーの質問にも答えます
などです。
携帯からも見られます。ぜひ、ご覧ください。

「消防の広域化」で消防力は強化されるか？

来年4月から、熊取・泉佐野・泉南・阪南岬の消防署の統合を計画

消防職員の充足が課題だが...

4つの消防の職員数と定員

| | |
|---------|-----|
| 今年4月現在 | 定員 |
| 365 | 394 |
| 定員から-29 | |



「維持する」とは答弁あるが、「充足させる」とは言わない。本質は合理化
いまでも定員から29名が不足していますが、田尻町議会でも担当課長は「維持する」とは言いますが「充足させる」との答弁はありません。小規模消防本部が大規模の消防本部と統合した場合、一般的に小規模の職員二は、階級の引き上げが実施されます。(この統合ではこれから協議)消防職員にとって階級は身分上最も重要な要素であり、引き下げによって「やる気を失う」ことが現実になります。また、人事の広域的なローテーションにより、地理不案内による不安をいなく消防職員もであるのが、全国で行われている消防広域化の実態です。

これまで通り泉佐野署に加え泉南署からも消火に来ますが、被害の軽減に役立つとは言えない。「部分焼」以内に消火することが目的そのため消火活動開始の許容時間は、6分半

田尻町議会で消防統合にかかわる議案を審議
田尻町は、泉佐野市へ委託から統合された消防組織へ委託に変更されます
田尻町は空港本島をかかえながらも常備消防がありませんので、引き続き統合された消防組織に委託になります。泉南署からも消火にきますが、市街地の消防署は、6分半以内に放水が始められるよう任意の地点から概ね、1・4km内に配置することが定められていますので、泉南署から来てても被害の軽減に役立つとは言えません。
田尻町消防団の定員充足が大きな課題
私、小川も消防団員ですが、消防団の現状は、定員38名にたいして現在25名であり、定員充足が大きな課題です。